



第2次裾野市環境基本計画の策定に向けた「裾野市環境市民会議」 すそのワークショップ★ニュース

NO.6

平成 27 年 9 月 28 日 発行



【お問合せ先】

裾野市役所環境市民部生活環境課

TEL : 055-995-1816 FAX : 055-992-4447

kankyoku@city.susono.shizuoka.jp

できあがった計画(案)をみんなでチェックしました！

■計画(案)について

今まで開催してきた第1～5回裾野市環境市民会議の検討結果、環境審議会や庁内策定委員会の検討結果を踏まえて「第2次裾野市環境基本計画」の計画(案)をつくり、みんなで内容や文言のチェックを行いました。

今のところ、望ましい環境像(案)として「富士山のすその 水・緑・人を共に育てるまち」、重点プロジェクト(案)として、「すその環境共育プロジェクト～ともに考え行動しよう～」が候補としてあがっています。

■第6回プログラム

日時：平成 27 年 9 月 4 日 (金)
14:00～16:00
場所：裾野市役所 地下会議室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 計画(案)について
- 4 ワークショップ
 - (1) ワークショップの進め方説明
 - (2) 役割分担
 - (3) 計画(案)の検討
 - (4) グループ発表
- 5 ふりかえりアンケート記入
- 6 閉会



付箋貼りもお手もの。みなさん、ワークショップの達人です！



グループごとに観点が違い、面白い結果が出ました



たくさんの目で計画案をくまなくチェックしていきます

■裾野市環境市民会議スケジュール

回	開催日時	会議の内容
第1回	平成 27 年 4 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> 環境基本計画の基本的事項、裾野市の環境の現状の説明 環境課題の検討
第2回	平成 27 年 5 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> 低炭素社会についての講演【低炭素社会についての勉強会①】 温室効果ガス排出量等の現状の説明 低炭素社会についての検討
第3回	平成 27 年 6 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> 将来イメージ、望ましい環境像の検討
第4回	平成 27 年 6 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> 低炭素社会についての講演【低炭素社会についての勉強会②】(事業者の取り組み紹介) 取り組みの検討
第5回	平成 27 年 7 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> 行政提案・重点プロジェクト(案)の説明 重点プロジェクトの検討
第6回	平成 27 年 9 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> 計画案の検討
第7回	平成 27 年 9 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> 環境市民会議の活動についての検討

■ワークショップ(グループ協議)

A、B、Cの3グループに分かれて議論を行いました。計画(案)について、主に以下のテーマについて確認を行いました。

- ①望ましい環境像・環境目標 ②重点プロジェクト ③主体別の取り組み

望ましい環境像
環境目標

- * 汚したものをきれいにするにはコストがかかることを、みんなが認識するべき。
- * 滞在者という言葉が分かりにくいので定義が必要。
- * 豊かな自然を共に享受できるまち」を追加する。
- * 持続可能という言葉が分かりにくい。
- * 「外来種の防除」を入れたい。 など

重点
プロジェクト

- * 市内の環境資源を利用して学ぶことを追加する。
- * 知るための道具・調査グッズの貸し出しを追加する。
- * 環境学習冊子の作成を追加する。 など

主体別の取り組み

- * 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への変更も進めるということも追加する。
- * 有害鳥獣としてサルを追加する。
- * 街路樹の整備などには、ユニバーサルデザインとの共生を(街路樹を整備したことで歩道が狭くなるのでは困る)。
- * アドプトプログラム、グリーンバンクなどに用語解説が必要。
- * ペットの飼い主のマナー向上だけでなく、「飼い主の責任の強化」を入れる。
- * 「社義」の言葉が難しいので説明を入れる。
- * 「世界遺産」「世界文化遺産」の用語の統一。 など

付箋紙に追加・修正事項を書いて模造紙に貼りました。

■ふりかえり

会議の最後に、今回の感想などを「ふりかえりアンケート」(一部抜粋を以下に紹介)に記入していただきました。

- 計画(案)ですが、今までのワークショップの結果が良くまとまっていると思う。
- 回を重ねているので、意見がぶつかり合うことも出てきていて、面白い。
- 自分の意見が否定されるのもまた、おもしろい。
- 地名や裾野市で行われていること(行事や活動など)知らないことがわかったこと。
- 発表の時間が足りなかった。
- 活発に意見が出た。
- グループのみなさんと話ができて良かった。



【今回のお菓子】

すそのブランド認定お菓子の第5弾は、五竜の滝のイメージから作られた「ファイゴン」のサブシ。裾野高校の3年生が授業で商品開発に取り組んだ商品です。

